

消化器センター

NEW 一す NO.5

2015.11

星野宏光 外科副部長(肝胆膵担当)



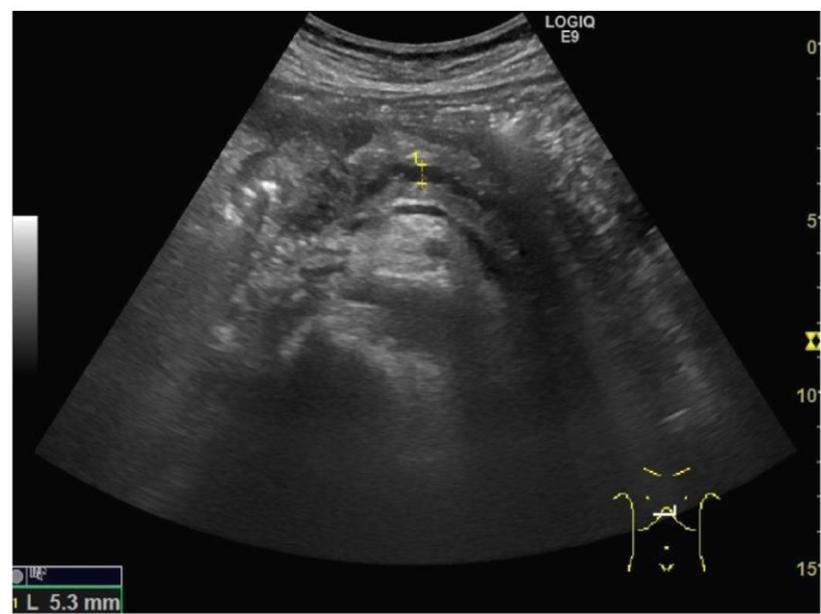
2015年10月より市立貝塚病院外科副部長に赴任しました、星野宏光です。肝胆膵外科疾患を中心に診療を行っております。肝臓癌・膵臓癌・胆道癌は難治性の癌であり、治療も困難を極める場合が少なくありません。しかし、進行癌であっても拡大手術で治癒する場合もあり、手術以外にも化学療法・放射線療法・IVR等を駆使し集学的治療で予後が改善する場合があります。また、低悪性度腫瘍等には腹腔鏡下手術を積極的に行い、低侵襲性や美容等、患者様の利益になるような治療を心がけていきます。進行・再発癌であってもあきらめずに治療し、他科とも連携しながら内視鏡治療等も行っています。

末期癌に対しても、当院に併設されている緩和ケア病棟を利用しながら患者様の苦痛を取り除く緩和医療を心がけます。

肝胆膵疾患は消化管疾患に比べて発見しにくく、有病率も低いためなじみが薄いかもしれませんが、何卒よろしく願いいたします。

膵管拡張にご注意を！

こういう風に見えます！



検診の腹部エコー検査で、肝臓と胆嚢に目が行きがちですが、膵臓にもご注目ください。主膵管径は3mm以上で膵管拡張となり、異常です。そういった場合はさらなる精査が必要で、膵臓癌が隠れている可能性があります。膵臓癌は予後不良な疾患ですので、可及的早期に発見することが重要となります。

上のような結果が認められた場合は、どうぞお気軽に当院外来へご相談ください。

市立貝塚病院
TEL : 072-422-5865

